

図書館くらぶへ12年間ご支援

ありがとうございました！

そうだ！図書館へ行こう！

図書館は情報が最も集まるところ、困ったこと、判らないことは図書館で！

平成23年5月21日設立総会を開催し会員42名でスタートし、賛助会員65名の方々のご支援も得ながら日々活動することになりました。

十二年前、待望の新図書館（情報創造館）建設で私たちは、知の拠点、文化のパロメーターと言われる図書館を、市民の立場で応援しよう！

その半年前、市が始めた図書館サポートに応募し、研修後具体的に返却本を書架へ戻す作業や、傷んだ本を修理する作業も始めました。

新図書館建設反対の渦巻く中で、その理由の一つが、経費の増大がありました。

その対策として

日常的な仕事はボランティアで、司書の方々は新しい仕事に移行する時間の創出に、との思いもあり、新図書館ができる前から具体的に取り組みました。



設立総会の翌月から企画展示「災害に強い生活スタイルを考えてみよう！」ロハス

（健康で環境にやさしい持続可能な生活スタイル）を中心に関連書籍（27冊）にPOPを付けた展示をはじめました。（東日本大震災の直後で、ライフスタイル見直しの機運が高まっていました）

★企画展示はその時の注目話題・食糧やエネルギー・産業・医療・介護・防災など市民生活に欠かせない分野と郷土の文化・文藝・芸能を令和4年まで126回実施されました。

展示テーマに関連した図書は、図書館司書からリスト表と共に提供されました。

第一回ミニゼミは荷造り紐を使ってカタツムリづくりを子ども達も50名参加して開催。梅雨のひと時でした。



★ミニゼミは144回参加者は6580人（平均46名の参加者数）講師は100名をこぞえました。私たちが目標とした人材バンクの役割を果たせたと自負しています

★古本市

終活で提供頂いた

書籍を中心に古本市を平成24年5月、中山道祭りから令和4年3月まで51回開店し、一万冊を超える本の有効利用に貢献したと思います。多くの市民の方から再開を求められています。

平成27年3月から図書館前広場に場所を移動して開店しました。

※図書館は市民と共につくるという立場で、地域活性化の情報発信に貢献できたことは大変良かったと思います。

平成22年7月中津川市新図書館建設市民協議会答申の提言書の実現支援に、平成23年5月発足した図書館くらぶはこの3月末で活動を終了いたします。

今後は「ひと・まちテラス」の四つの機能（交流・資源・子育て・学び）と関連する新たなミッションの基、体制一新しスタートすることになりました。



図書館前で開店



本町でスタート

KEEP ON (キープオン) 「サークル きーぽん」

十二年間の図書館くらぶの活動をそのまま閉じてしまうのは、あまりにも惜しい。そこで培ったさまざまなことを持続させていくために、新たな出発をするわけです。それゆえにKEEP ON、キープオンなのです。

十二年の間にわたしたちも歳を重ねました。しかし好奇心も、向学の心も、探究心も、創造への志も失っていません。その心を生かして新たな気持ちで活動をしようとするのです。

新しい図書館を大いに活用し、知的欲求を満たしつつ、知り得たことを、私して満足するのではなく、市民の中へ、広げていきたい。

そして、大きく言えば元気な中津川を未来へ渡したい。そんな願いを持っています。

高齢になっても認知症になることだけを心配するのではなく、忘れっぽくても、それはお互い様。年の功ということにして、図書館くらぶの百回をゆうに超えたミニゼミを、私達の一番の活動として今後もしっかり組んでいきます。私たちの興味のおもむくままに文化・芸術・社会活動・企業・産業・農業あらゆる分野に目を向けていこうと思っています。図書館・ひとまちテラスや、中央公民館などを活動の拠点にし、フィールドワークも計画しつつ、持続した活動を生み出していこうと考えています。

★その企画の第一回が渡辺洋子さんのピアノ伴奏で「春の歌を歌いましょう」ということです。文化会館のロビーコンサートとして四月六日(土)十一時からです。懐かしい歌をすてきなピアノの伴奏で歌い元気になるでしょう。よろしくお願いします。

新しいお仲間大歓迎です！ 会長 松原槿子

市民とともに作り上げた図書館！

① 大工さんボランティア



センターテーブル



企画展示コーナー



幼児コーナーテーブル

製作数は17品目56点に及ぶ小林光代館長の強い思いで中津川市の地形を型どったセンターテーブル(現在中央公民館ロビーに設置されています)

② 花ボランティア



毎週2回館内8ヶ所に生花を入れ替え、館内を明るい雰囲気をつくらせている。

メンバーは四人で自宅の庭に咲く季節の草花を持ち寄っていた。

残念ながら新しい図書館では、花は飾ることができません。



万葉歌に歌われた花

トピックス

★第一回ハガキコンクール開催

企画展示・ミニゼミの一環として会員から提案があり、プロジェクトチームが編成され、応募数も千通を超える大きな数字になりました。文化系で初めて子ども金メダルにもなり、市長賞はじめ各賞授与式も平成24年2月25日中央公民館ホールにて230名の受賞者を招待し、市長・教育長を迎えて開催しました。以後市主催、図書館くらぶ後援で読書推進事業と位置づけられ10回開催されました。ひとまちテラスに移行後も、「市民読書基本条例制定市」でもあり継続されるものと思います。



作品展示準備作業と図書館内展示風景



表彰式 会場風景



トピックスロ

★第一回図書館まつり開催

平成24年11月25日(日) 共催 図書館・図書館くらぶで開催しました。



風船アーチ ゼロからの出発



一日図書館長就任式

令和3年10月30日(土)第十回まで続きました。コロナ禍で9回に続き展示になりました。

展示テーマ

「中央図書館の歩み」



百人一首会場

トピックスロ

第2回街なか保健室・献血バス横付け

平成24年8月19日(日) 23年に引き続き開催しました。今回から日赤献血バスによる献血及び血液検査、図書館内では健康医療課保健師さんによる「健康相談室」を併設しました。令和元年8月18日(日)第9回まで継続しました。



献血待合テント内も満席 献血者 60名



血液関連本の展示風景



管理栄養士作成健康レシピの配付



図書館前の広場の全景

サイエンスロ

第69回ミニゼミ「南極のお話し」『神秘的な南極の世界を身近に学ぼう!』

平成28年7月24日(日) 中央公民館4-2学習室にて71名の参加を得て開催。南極の氷を触り、また氷から出る古代の音を聞きました。



氷から出る音を聞く!

恵那市在住の第10次・15次南極観測越冬隊員の鈴木剛彦さんから昭和基地・みずほ基地・あすか基地・ドームふじの位置と役割と現状の説明
昭和基地の季節：①夏12月～2月 40日間
は沈まぬ太陽の白夜 ②春9月～11月 ペンギンの親子 ③秋3月～5月 オーロラ ④冬6月～8月 40日間太陽の出ない真冬。



トピックス

これがミニゼミ?

① 第16回 「山と仲間・ロープを結び合うとの意味」 と登り、歩いてきた世界の山

平成24年7月8日(日)中央公民館ホールにて
ヨーロッパ3大北壁を登攀した、市内在住のアルピニスト宮下征夫さんに講演して頂きました。会場満席の220名を超える参加者は、大自然に挑む人間の精神的、肉体的な限界に万全な準備をし挑戦した記録に感動の連続でした。



② 第43回 「夢ケーキづくり」

夢を絵にしてケーキに。平成26年6月14日
中央公民館2-1学習室で、約100名の参加で夢をケーキにして作り、親子で交流しました。
伊那市菓匠シェフパティシエ清水慎一さんの指導



あらかじめ絵を菓匠に送り、ケーキのスポンジの形や色のついた練切りを絵に合わせ用意してもらいました。

③ 第46回 「糖尿病をめぐる話題提供と苦にならない健康づくり」

国保坂下病院名誉院長高山哲夫先生、平成26年9月27日(土)中央公民館ホールにて121名の参加者で、「健康夜咄」「国保四方山話」の発刊記念も兼ねての講演会でした。



④ 第56回 「みんなで聴こう『筑前琵琶演奏会』」

平成27年7月12日(日)中央公民館ホールにて164名の参加者で開催。演者は落合出身、津島市在住、林旭紅(恵子) 師匠、ウード 佐々木宏治さん



アーカイブ

第64回ミニゼミ 「北恵那鉄道はなぜ出来たか『昔から今を考えてみよう!』」

平成28年2月14日(日)中央公民館4-2学習室にて66名の参加者で、中京学院大経営学部教授の関谷次博博士から研究成果を軽快な語り口で分かり易くお話して頂きました。

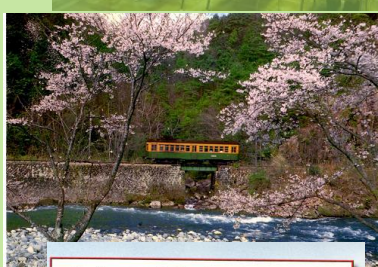


資本金の6割は沿線の人々が進んで出資した。



2006年北恵那鉄道に関わる資料を破棄される直前に確保し、研究された内容のお話して、後日資料を譲り受け市史編纂室に受け入れられました。

※関谷教授は4月関西にある大学へ転任されました。



北恵那 交通(鉄道) 創立80周年

(1922-2002)

